

入退院支援について

天王寺区在宅医療・介護連携相談支援室の取組み

区の概況



人口 85,513人 (R7.6月末日現在)
(65歳以上人口 16,433人)
高齢化率 19.2%

テーマに対する背景・課題 取組みのきっかけ①

- ・天王寺区には、大阪赤十字病院、大阪けいさつ病院という1000床クラスの基幹病院が2病院あり、中小病院が5病院あるという様々な機能を有した病院があるというのが当区の特徴です。



テーマに対する背景・課題 取組みのきっかけ①

天王寺区 5 病院

四天王寺病院

聖バルナバ病院

辻外科リハビリテーション病院

早石病院

湯川胃腸病院

テーマに対する背景・課題 取組みのきっかけ①

天王寺区包括支援センター

：区内に 1 か所

天王寺区	天王寺区	543-0074	天王寺区六万休町5-26	06-6774-3386	06-6711-0595	外部HP 
------	------	----------	--------------	--------------	--------------	---

ランチ

：区内に 2 か所

天王寺区	夕陽丘ランチ	四天王寺きたやま苑	543-0035	天王寺区北山町9-6	06-6773-1811	06-6773-1840	外部HP 
	高津ランチ	四天王寺たまつくり苑	543-0014	天王寺区玉造元町1-29	06-6763-4115	06-6763-4165	外部HP 

テーマに対する背景・課題 取組みのきっかけ②

- 1000床クラスの基幹病院が 2 か所あるのは、利点であるのは間違いないですが、大阪府有数の基幹病院であるからこそ、訪問看護や介護事業者から相談などの『アプローチが難しい。』病院側も『在宅事業者と何を話していいかわからない。』ということが長年の課題でした。

そこで . . .

- 我々は、『価値観の違い』を埋めなくてはいけない。
- 互いを知ることができる機会を作らなければいけない。

と考えました。

その方法として . . .

- ワールドカフェ形式での意見交換を試みることにしました。

R1年9月12日、R2年1月29日、R2年2月8日、R6年11月27日、
R7年7月23日、R7年11月26日。



感想 ①



- 先生方（医師）と今までケースのことでは話をすることがあったが、意見交換をすることはなかったので、新鮮でした。
（包括職員）
- 今まで聞くに聞けなかったことが聞けました。
（病院の退院支援担当者）

感想 ②



- 今まで電話では、話をしたことがあるが、顔を見たことがなかったので、今後話がしやすくなります。
（訪問看護師）
- 病院の退院に向けたプロセスや考えがよくわかって勉強になりました。
（区役所職員やケアマネなど）
- グループワークだと医師や年長者に気を使ってあまり意見が言えなかったが、ワールドカフェ形式だとリラックスして話ができよかったです。
（ケアマネなど）

まとめ . . .

- ワールドカフェ形式だと結果を求めず『共有や共感』が目的なので、関係性が近くなりやすい。

(お茶やBGMがあるとなお◎)

- 本事業が天王寺区医師会が受託している事業なので、医師や病院への出席依頼がスムーズにできる。

まとめ ② . . .

- 天王寺区連携相談支援室で待っていても相談はなかなか来ないので、俯瞰した立場で区内の医療・介護のインフラ整備をするような感覚で日々活動しています。